

時計台通信



10月17日(火)、18日(水)の両日、6年生が待ちに待った修学旅行に行きました。運動会が終わると、子どもたちの胸は、修学旅行に向けて喜びと期待で大きくなりました。この修学旅行では、「古い都である奈良・京都を見学し、すでに学習した日本の歴史についての理解を深める」「集団の一員であるこぼれとを自覚し、集団規律の重んじ、公衆道徳の重要性を体験的に学習する」「グループごと自由行動の過剰な活動を通じ、主体的に協調性を養う」を目的とし、一人一人がしっかりと自覚し、二日間を有意義に過ごすことができました。これからは、最高学年としての責任が求められる6年生を期待しています。

三都物語を満喫!



大仏のあまりの大きさにびっくり!大仏殿の柱にある鼻の穴くぐりは、大騒ぎでした。



鹿たちの突進に、最初は緊張の子どもたちでしたが、奈良公園をしっかりと楽しみました。



京都の夜の町屋を散策しました。産寧坂や八坂の塔は京都の昔の風情が感じられました。



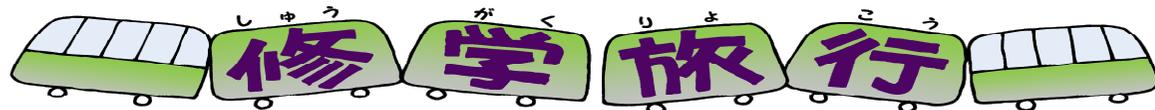
「風神雷神図」で有名な建仁寺での座禅は緊張しました。石庭など鎌倉文化が感じられました。



音羽の滝では「延命長寿、恋愛成就、学業成就」どれを飲もうか、迷ってしまいました。



楽しみにしていた金閣寺!あまりの美しさに感動しました。もっとゆっくり見たかったです。



七区学区に学ぶ!

七区小学校では、学校教育の重点目標に「七区学区に学ぶ」を掲げており、「児島湖畔環境アダプト事業」を始めとする協働的な活動や、稲作、干拓の歴史学習、水門見学、なすの収穫などの体験活動の充実を行い、「地域を愛する子」を育てようとしています。10月は、4年生の「水門見学(七区揚排水機場他見学)」に始まり、5年生の「稲刈り」など、地域の方々の温かいご支援で、子どもたちは豊かな学びをすることができています。

水門(七区揚排水機場 他) 見学

4年生では、社会科で、9月から「海を陸地に」という学習が始まり、その中で、岡山市南部は、「吉備の穴海」と言われていたことや、江戸時代から干拓が始まったこと。塩との戦いなど、たくさんの人たちが、大変な苦労を重ねながら、現在の七区学区を作り上げてきたことを学ぶことができました。



10月3日(火)には、「七区揚排水機場」「七区幹線用水路」「干拓堤防跡」「七区排水機場」などを、NPO法人美しい田園21の方々のご支援により、見学することができました。子どもたちは質問をしたり、メモを取ったりしながら、真剣に説明に耳を傾け、干拓の歴史や七区学区について、理解を深めることができました。教科書だけでは、気づけなかった新しい発見をしたり、地域の歴史への興味関心が高まったりした子どもたちが、数多く見られました。ご家庭でも、地域の歴史や学区のことなどを話題として、子どもたちの学びを一層豊かなものにしていただけたらと思っています。

これからの予定!(11月~12月)

- 5年生 稲刈り 大飯会 世界の料理
- 2年生 玉葱の植付 焼き芋パーティー

生活科・社会科見学

生活科見学や社会科見学では、各学年の学習の目標に加えて、「公共施設」や「公共交通機関」を利用する中で、「安全な利用の仕方、公共マナーやルールの大切さ」「正しい集団行動や集団規律」なども学びます。



10月16日(月)、4年生は、「窯元の見学や備前焼の制作体験を通して、岡山県の伝統工芸にふれるとともに、制作に関わる人々の苦労や工夫に気づく」を目的として、山本竜一氏の窯元見学と備前焼の備前焼作り体験をしました。子どもたちは、国道から一步入った町並みに驚き、備前焼の世にタイムスリップしたようでした。質問をしたり、真剣にメモを取ったりする中で、学習してきたことを思い出し、理解を深めていくことができました。また、土ひねり体験では粘土をこねるようになって思い描く作品に仕上げていく中で、難しさと楽しさを味わうこともできました。

11月 第三日曜日 家族の日 2007から
前後一週間 家族の週間
子育てを支える家族や地域の絆の重要性を考えるきっかけにしよう！